

2025 土
3/1

奈良市アートプロジェクト
古都祝奈良シンポジウム

「東アジア文化
都市2016
奈良市」の10周
年を記念して、
2026年から
新たなアート
プロジェクトを
始動！
その可能性に
ついて考える
トーク &
シンポジウム

まちと未来を
みんなので考えるー
メディアアートの
可能性

令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
第2次奈良市文化振興計画推進事業



会場
ならまちセンター
市民ホール
時間
14:00-16:00

Part 1
Artist Talk

落合陽一

現在の落合氏の活動や奈良市の
文化的資源とのコラボについて、
奈良市アートプロジェクトへ
の期待などについて、落合氏が
語る60分。



© 中川容邦 / KADOKAWA



©2024 Yoichi Ochiai / 設計:NOIZ / Sustainable Pavilion 2025 Inc. All Rights Reserved.



参加費無料・要申込
定員 300名
主催：奈良市 奈良市アートプロジェクト実行委員会

Part 2
Panel Discussion

仲川げん
奈良市長、
奈良市アートプロジェクト
実行委員会委員長

大谷智子
大阪芸術大学 芸術学部
アートサイエンス学科
准教授

安藤英由樹
大阪芸術大学 芸術学部
アートサイエンス学科
教授

森山朋絵
メディア芸術キュレーター、
東京都現代美術館学芸員
(予定)

メディアアート領域の
作家やアドミニスト
レーターの方から
寄せられたメッセージ
「きたるべき奈良市ア
ートプロジェクトに期待
すること」をもとに、
パネルディスカッション
を展開します。

奈良市アートプロジェクト

古都祝奈良

KOTO
HOGU
NARA

とほら
こほら
な

Part 1

Artist Talk



© 中川啓祐 / KADOKAWA

落合陽一 Yoichi Ochiai

メディアアーティスト、筑波大学デジタルネイチャー開発研究センターセンター長、筑波大学図書館情報メディア系准教授、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)テーマ事業プロデューサー。

1987年生まれ、2010年頃より作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。近年の展示として「ル庵:騒即是寂の寂即是騒」(Gallery & Restaurant 舞台裏, 2024)、「昼夜の相代も神仏:鯨ル.:鰻ドラゴン」(東京 BAG-Brillia Art Gallery-, 2024)、「どちらにしようかな、ルの神様の言うとおりに:円環・曼荼羅・三巴」(岐阜・日下部民藝館, 2024)など多数。

Part 2

Panel Discussion

メディアアート領域の作家やアドミニストレーターの皆さんから寄せられたメッセージ「きたるべき奈良市アートプロジェクトに期待すること」をもとに、パネルディスカッションを展開します。



森山朋絵 Tomoe Moriyama
メディア芸術キュレーター、
東京都現代美術館学芸員 (予定)

1989年より学芸員として東京都写真美術館の創立に携わり多数の映像メディア展を企画。東京大学、早稲田大学、東京藝術大学、パウハウス大学、UCLA等で教鞭を執り、2007年より現職。独ZKM、米MIT、Getty研究所に招聘滞在後、Prix Ars Electronica 審査員、SIGGRAPH Asia 2008 議長、NHK日本賞審査員、文化庁メディア芸術祭アート部門主査、文化審議会専門部会委員等を歴任。日本バーチャルリアリティ学会フェロー。



安藤英由樹 Hideyuki Ando
大阪芸術大学 芸術学部
アートサイエンス学科 教授

1974年岐阜生まれ。2008年大阪大学大学院情報科学研究科准教授、2020年大阪芸術大学アートサイエンス学科教授。XRの分野を中心に錯覚利用インタフェース、Wellbeingを実現する情報技術などの研究に従事。基礎研究に加え、芸術表現としての先端的科学技術の社会貢献にも関心を寄せ、自らも作品制作を行なう。第12回文化庁メディア芸術祭優秀賞、ARS ELECTRONICA PRIX Honorary Mention受賞(2009, 2011)等。



大谷智子 Tomoko Ohtani
大阪芸術大学 芸術学部
アートサイエンス学科 准教授

インタフェースやデジタルコンテンツの心理学的評価を行うと共に、当該分野の理解増進事業に従事。研究者やデザイナーらと共に、錯覚を楽しみ、その利用・応用の可能性を考える錯視ブロックプロジェクトを行っている。この活動は第11回キッズデザイン賞子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門優秀賞(経済産業大臣賞)を受賞した。様々な角度や大きさの図形が起こす目の錯覚(錯視)で、私たちが街に対して無意識に感じている活動的な雰囲気であらわした「錯視地図」シリーズは、東京都現代美術館や長崎県立美術館等で展示された。



仲川げん Gen Nakagawa
奈良市長、
奈良市アートプロジェクト
実行委員会委員長

警報発令その他の状況によっては、イベントを中止、または内容を変更する場合があります。

まちと未来を みんなであら メディアアートの 可能性

2025 3/1

14:00-16:00
ならまちセンター
市民ホール

〒630-8362 奈良県奈良市東寺林町38

参加費無料
要申込 定員 300名

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」
WEB: <https://kotohogunara.jp>



www.facebook.com/naracityart/
[@naracity_art](#)
[@naracity_art](#)

申し込み方法

WEB または はがき郵送

●応募締め切り

専用申込みフォーム **2/24(月)**

往復はがき(必着) **2/14(金)**

※申し込み多数の場合は抽選

WEBでの申込み

専用申込みフォームにてお申込みください。

こちらより→



往復はがきでの申込み

以下の必要事項をご記入の上右記応募先に郵送ください。

- ・イベントタイトル
- ・住所
- ・氏名(ふりがな)
- ・電話番号
- ・メールアドレス(任意)
- ・参加希望人数

応募先・お問い合わせ先

奈良市アートプロジェクト
実行委員会事務局

〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1-1
(文化振興課内)

TEL: 0742-34-4942

E-MAIL: art@city.nara.lg.jp

FAX: 0742-34-4728